



財団法人 大学基準協会

Japanese University Accreditation Association

〒152 東京都新宿区市谷四丁目2-7-13 TEL:03(5228)2020 FAX:03(5228)2323

大基委相第121号
平成11年3月18日

武庫川女子大学
学長 日下 晃 殿

財団法人 大学基準協会
会長 島 居 泰



貴大学の相互評価の認定に関する件について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、貴大学の相互評価認定に関する件につきましては、本協会の相互評価委員会において慎重審議の結果、貴大学は、「大学基準」に適合しているものとして、「相互評価の認定を行うことが適当である」旨の評価結果が下され、かつ、評議員会および理事会において、同評価結果が満場一致をもって承認されましたのでご通知いたします。

また、相互評価委員会におきまして、相互評価認定を行った大学の一層の充実向上を期待するため、「別紙」のとおり助言、勧告、もしくは参考意見を付すことが適当であるとの結論に達しましたので、その点もよろしくご高配下さいますようお願いいたします。

本来、維持会員は、勧告等の有無にかかわらず、自らの大学の掲げる理念・目的を達成するために、自主的かつ恒常的にその質的水準の向上を期して努力すべきはいうまでもありません。このたび「勧告」あるいは問題点の指摘に関する「助言」の付せられた大学におかれましては、別紙の「勧告」の趣旨に添った対応策を講じられるとともに、「助言」の趣旨も可能な範囲で参酌され、その改善実施の概況に関して「改善報告書」をお取りまとめの上、平成14年7月末日までに本協会会長宛にご提出願うこととなっております。

なお、貴大学の相互評価認定年月日は、平成11年3月18日付となりますので、何とぞご承引下さいますようお願いいたします。

敬 具

添付資料

「武庫川女子大学に対する助言・勧告」

武庫川女子大学に対する助言・勧告

I 概 評

創立者の教育思想を集約した「立学の精神」に則り、「女子総合学院の特質に鑑み、一貫教育の方針を堅持し」、「個性豊かな文化を創造して新日本の建設に貢献し得べき女性の養成を期し、その使命達成のために、学園を挙げてその力を致す」といった理念・目的に沿った努力が全般的にみられる点は高く評価できる。学生への配慮がよく行き届いているのは女子大学の特徴であるかと思われるが、学生の自主性、自律性といったことへの配慮も教育理念からいって必要ではなかろうか。

なお、今回の貴大学の自己点検・評価の結果並びに本協会の相互評価の結果に対し、全学的・組織的に対処し、教育研究のさらなる改善に結びつけることが望まれる。

II 大学に対する提言

一、助 言

① 長所の指摘に関わるもの

- 1 「立学の精神」とそれにもとづく5項目の教育綱領を、教職員、学生のすべてに多様な方法を講じ周知している点、「立学の精神」を具現化するために、学部・学科・学年の枠を取り払って、自由に科目選択ができる共通教育科目や特別学期における特別教育科目を設置し、人材育成に寄与している点は評価できる。
- 2 音楽学部においては、女子教育の理念のなかに音楽が位置づけられ、人間形成を基本とする実践的取り組みがある点は評価できる。
- 3 薬学部では、医療人としての社会的使命を遂行し得る女性の人材の養成に邁進しており、特に、病院実習、模擬薬局実習を通じて女子薬剤師の養成に成果をあげている点は評価できる。
- 4 文学部におけるコース別の履修、教養教育の重視、放送大学及び洋上大学における履修科目の単位化、受講者定員の制限などの取り組みは、いずれも評価できる。
- 5 受講生による授業評価のアンケート調査が実施され、学生からの授業に対する意見聴取の場として幹事懇談会を設けるなど積極的に教育効果の向上に努力している点は評価できる。
- 6 社会人・地域住民などを対象としたオープン・カレッジを実施したり、各学科主催の学術講演会などを公開している点は評価できる。
- 7 薬学部において、薬学教育で問題となっている実務実習での成果をあげるために臨床薬学センターを開設し、そこで模擬薬局実習を実施している点、さらに、

臨床薬剤師の育成のため医療倫理、臨床心理学などの科目を強化している点は評価できる。

- 8 薬学部で、早くから生涯研修を目的とした薬学講座が開講されていて、これに加えて平成8年度から臨床薬学実習が社会人に開放されていることは評価できる。
- 9 共通教育の理念・目的が全学部の教員に理解され、共通教育を支える共通教育部も各学部・学科の協力を得られており、各学部・学科との連携・協力の体制ができている点は評価できる。
- 10 文学部で、情報教育研究センター、国際交流室、ムコガワ・フォート・ライト・インスティテュート(MFWI)などを利用した教員相互の啓発により新しい状況に対応している点は評価できる。
- 11 学部による差はあるが、講義室、実習室、研究室、図書館、学生厚生施設など施設面での快適な教育環境の実現に努力している点は評価できる。
- 12 文学関係の図書資料で、特色あるコレクションがある点は評価できる。

② 問題点の指摘に関わるもの

- 1 音楽学部では公募制推薦入試による入学者比率が高いので、改善が望まれる。
- 2 大学院文学研究科英語英米文学専攻・家政学研究科食物学専攻及び薬学研究科博士後期課程では学生の定員充足率が低いので、改善が望まれる。
- 3 提出された資料によると、学部によって、教員のなかに発表論文数の格差があるので、研究活動の活性化に向けて改善が望まれる。

二、勸告

- 1 薬学部の定員超過率が高いので、改善されたい。
- 2 生活環境学部の在籍学生1人当りの講義室、演習室の面積が狭隘なので、改善されたい。

三、参考意見

相互評価委員会において、以下のような意見が示されたので参考とされたい。

- 1 生活環境学部及び大学院家政学研究科、薬学研究科などでは、社会人入試を推進することが望まれる。
- 2 文学部において、学生の専攻分野と教員の研究分野にズレがあり、教員が指導する学生の人数に偏りがある。
- 3 提出された資料によると、研究室特別貸出制度との関係を考慮しても、なお学生用図書が必ずしも十分に図書館内に確保できていないので、改善が望まれる。さらに、社会科学系の学生用図書が少ないように見受けられるので改善が望ま

れる。

- 4 組織運営は適正に行われているといえるが、学院長と他の管理者との関係が不明確である。
- 5 国際化として、MFWIが活発に動いていることは評価できるが、他の国際交流をどう活性化していくかが今後の課題である。
- 6 薬学部及び薬学研究科では、情報化、国際化への対応が必ずしも十分になされていないので、改善が望まれる。